

ほっかいどう チャレンジテスト 前年度サポート問題

小学校第5学年 算数

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 問題は1ページから7ページまであります。
- 3 解答は、かいとう 全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆えんぴつを使い、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答には、かいとう 定規じょうぎやコンパスは使用しません。
- 6 解答用紙には、かいとう 学校名、組、出席番号、名前をまちがいのないように書きましょう。
※かいとう 解答が早く終わったら、よく見直しましょう。

1

次の計算をしましょう。

(1) $100 - 20 \times 4$

(2) $6 \times 2 + 8 \times 3$

(3) $912 \div 4$

(4) $204 \div 4$

(5) $148 \div 37$

2

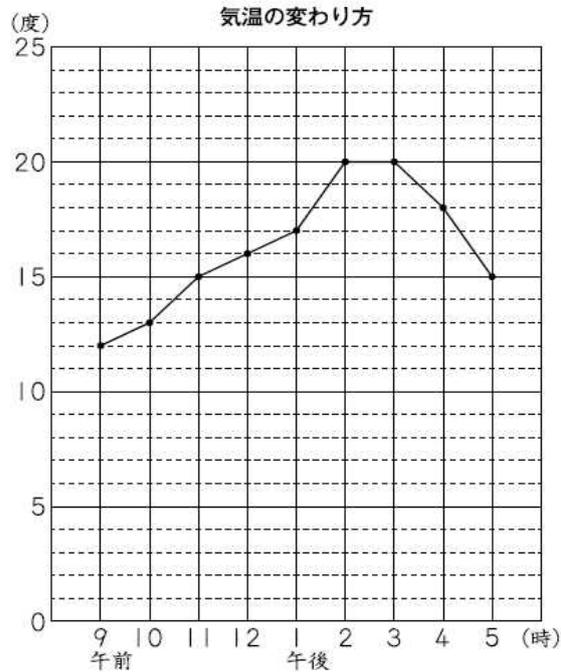
次の式で表される場面を、下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

(式) $120 + 80 \times 10$

- 1** 120円のノートと80円のえんぴつを組にして、10組買うときの代金
- 2** 120円のノートと80円のえんぴつと10円のえんぴつキャップを、1つずつ買うときの代金
- 3** 120円のノート1さつと80円のえんぴつを10本買うときの代金
- 4** 120円のノートを80さつと、10円のえんぴつキャップを1個買うときの代金

3

下の折れ線グラフは、ある日の気温の変わり方を表しています。
次の問題に答えましょう。

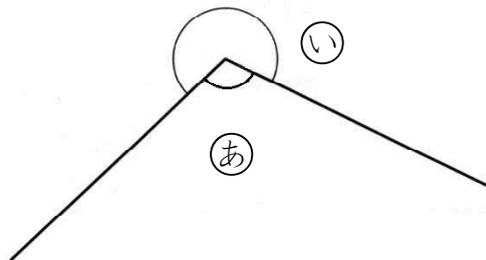


- (1) 午後3時から午後4時までの1時間で、気温は何度下がりましたか。
- (2) 1時間ごとの気温の上がり方がいちばん大きかったのは、何時から何時までの間ですか。
- (3) 午前9時から午後5時までの間で、気温が一番高いときと一番低いときの差は、何度ですか。

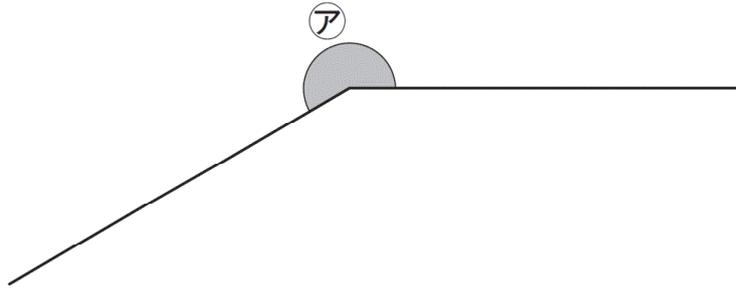
4

次の問題に答えましょう。

- (1) ㊸の角が 110° のとき、㊹の角の大きさを求めましょう。



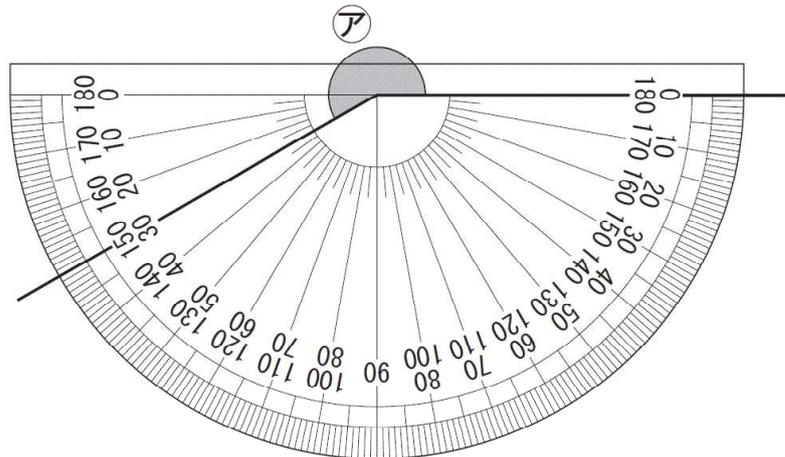
(2) アの角の大きさをはかります。



① アの角の大きさについて正しいものを、下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

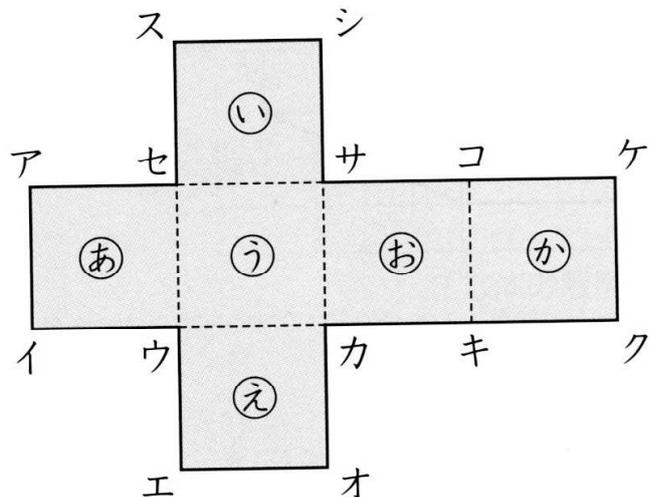
- 1 90° 未満である。
- 2 90° 以上で、180° 未満である。
- 3 180° 以上で、270° 未満である。
- 4 270° 以上で、360° 未満である。

② アの角の大きさは何度ですか。答えを書きましょう。



5

下の立方体のてん開図を組み立てます。
次の問題に答えましょう。



- (1) 頂点^{ちょうてん}クと重なる頂点^{ちょうてん}をすべて書きましょう。
- (2) 面㊦と平行になる面を書きましょう。

6

1こ30円のあめを何こか買います。
あめの数を○こ、代金を△円として、○と△の関係を式に表すと、どのよう
になりますか。

下の **1** から **4** までの中から1つ選^{えら}んで、その番号を書きましょう。

1 $30 + \bigcirc = \triangle$

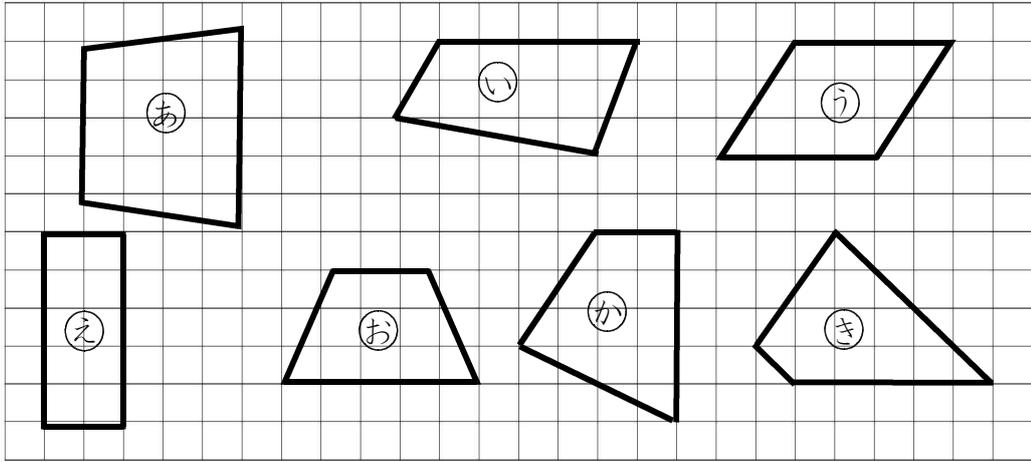
2 $30 \times \bigcirc = \triangle$

3 $\bigcirc + \triangle = 30$

4 $\triangle - 30 = \bigcirc$

7

下の四角形の中から、台形をすべて見つけ、記号で答えましょう。



8

児童会活動で、ペットボトルのキャップを集めています。4月から7月までの間に集める目標は、10000こでした。7月までの4か月間に集めたこ数は、下の表のとおりです。

7月までの4か月間に集めたこ数

月	4月	5月	6月	7月
こ数(こ)	1891	1982	2903	2473

次の会話を読んで、あとの問いに答えましょう。



集めたこ数の合計は、目標に達しているかな。



目標に達しているかどうかなら、およその数にして計算すれば、わかります。

およその数にする方法は、次の3通りがあります。

- ・四捨五入する
- ・切り捨てる
- ・切り上げる



切り捨てて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実さいの数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	$1000 + 1000 + 2000 + 2000 = 6000$			

実さいの数より小さい数にして和が6000だから、集めたこ数の合計が6000こ以上であることはわかります。

(1) 四捨五入して計算します。次の①の式に入る数と、②に入る数を書きましょう。

四捨五入して、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実さいの数	1891	1982	2903	2473					
	↓	↓	↓	↓					
およその数の計算	<input type="text"/>	+	<input type="text"/>	+	<input type="text"/>	+	<input type="text"/>	=	<input type="text"/> ②

①

実さいの数に近い数にして和が ② だから、集めたこ数の合計が約 ② ことであることはわかります。

(2) 切り上げて計算します。次の③に入るふさわしい文を、下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

切り上げて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実さいの数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	$2000 + 2000 + 3000 + 3000 = 10000$			

③

ことがわかります。

- 1 実さいの数より大きい数にして和が10000だから、目標^{もくひょう たつ}に達している。
- 2 実さいの数より大きい数にして和が10000だから、目標に達していない。
- 3 実さいの数より小さい数にして和が10000だから、目標に達している。
- 4 実さいの数より小さい数にして和が10000だから、目標に達していない。

- (3) 9月から12月までの間に集める目標^{もくひょう}も、10000こです。
11月までの3か月間に集めたこ数は、下の表のとおりです。

11月までの3か月間に集めたこ数

月	9月	10月	11月
こ数(こ)	3009	2514	2120

はるかさんは、目標^{もくひょう}に達するには、12月におよそ何個のキャップを集めればよいかを、次のように考えました。

はるかさんの考え

3か月間に集めたこ数の合計を、次のようにして計算します。

実さいの数	3009	2514	2120	
	↓	↓	↓	
およその数の計算	3000	+ 2000	+ 2000	= 7000

目標の10000こに達するには、12月に3000こ集めればよいはずです。

はるかさんの「およその数の計算」で、12月に3000こ集めればよいことがわかります。実さいの数で計算しなくても、12月に3000こ集めればよいことがわかるのはなぜですか。

そのわけを、言葉と数を使って書きましょう。

平成28年度「ほっかいどうチャレンジテスト」前年度サポート問題（第1回）
 小学校第5学年
算数 解答用紙

1	(1)		(2)		(3)	
----------	-----	--	-----	--	-----	--

(4)		(5)	
-----	--	-----	--

2	
----------	--

3	(1)		(2)	
----------	-----	--	-----	--

(3)	
-----	--

4	(1)		(2) ①		(2) ②	
----------	-----	--	----------	--	----------	--

5	(1)		(2)	
----------	-----	--	-----	--

学校名	組	出席番号	名前	
				20問中

6

7

8

(1)	1 8 9 1	1 9 8 2	2 9 0 3	2 4 7 3
①	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(1)	<input type="text"/>
②	

(2)	<input type="text"/>
-----	----------------------

(3)	<input type="text"/>
-----	----------------------
